

第2学年 学年通信 ~みんな幸せ~

名古屋市立名塚中学校

No.6

令和4年9月28日 発行

稲武野外学習を終えて、次は・・・

2学期に入り、稲武に行ってきました。さまざまな準備があり、学級委員は夏休みも学校に来てダンスを練習しました。全てはこの2日間を充実させたいという思いでしたね。

みんなで考えた稲武のスローガン「炎助意」を掲げて迎えた当日。着いてまず行ったのは、野外炊事。火と向き合っとうちわを仰いでいる人もいれば、野菜を切ってカレーを作っている人もいました。みんないい表情でカレーを作っていましたね。夜はキャンプファイヤーで、学校〇×クイズやもうじゅう狩りで大いに盛り上がり、学級委員のダンスも見事でした。2日目は民芸教室で思い出の詰まった作品にしようとして一生懸命に取り組み、2日間を通して、班やクラスの仲間と協力したり努力したりする姿があり皆さんの新しい一面をたくさん見る事ができました。そして何より、皆さんの笑い声が休憩時間や帰りのバスの中でも絶えることのなかったことが、今回の稲武が「最高の2日間」になった証拠だと思います。

そんな楽しかった稲武も終わって、明日は体育大会。日ごろの運動の成果を披露する場です。何事にも一生懸命に取り組む2年生の良さを発揮して、仲間とともに喜び合う姿を見ることができるとを期待しています。たとえ途中で転んでもいい!バトンパスをミスってもいい!靴が脱げても・・・これは防げますね。どんな結果であれ競技を終えた人を拍手で座席に迎えよう!そしてみんなで最高の1日にしよう!! さあ「みんな幸せ」に向けて2学期の第2章の幕開けだ!!



第1回名塚トライアルが行われました

9月2日(金)に2年生の『第1回名塚トライアル』が行われました。全教科80点以上で合格した人は82名でした。また、全教科が満点の『パーフェクト賞』の人は10人いました。パーフェクトと1問だけの間違い、そこには大きな壁があります。冬休み明けの『第2回名塚トライアル』では、より多くの方が『パーフェクト賞』をとれるようにがんばってみましょう。

※ 9月30日(金)は学年諸費の集金引き落とし日です。ご準備くださいますようお願いいたします。

※ 体操服での登校が認められるのは10月7日(金)までです。10月10日(月)からは全員が制服での登校となります。また、夏服から冬服への切り替えは期日を設けておりませんので、天候や体調に応じて各自で判断してください。

『稲武野外学習を終えて』に書かれた作文をいくつか紹介します。また、写真は稲武での各場面での様子です。

1組

私は今回の稲武野外学習を表すとていい四字熟語があります。それは「一致団結」です。私たちが今回体験した様々なことは、仲間がいなくてできなかったことばかりです。だから、「多くの人が心をつにし、目標に向かって協力する」という意味のこの四字熟語がびつたりだと思いました。私が特に団結力を感じた瞬間は大きく三回あります。

まず一つ目は、カレー作りです。グループにいつもはあまり話さない人もいましたが、そんなことは忘れて楽しく美味しいカレーを作れ、自然と笑顔になれる瞬間でした。班の皆で力を合わせた「努力」というスパイスが入ったカレーなので世界一美味しかったです。

二つ目は、キャンプファイヤーです。キャンプファイヤーで行われたクイズで、一人では分からなかったようなクイズも、クラスの女子で力を合わせました。その結果、一問しか間違えませんでした。「力を合わせる」と言うことの大切さを感じた瞬間でした。問題に正解をしてハイタッチをし合ったときの皆はどこか輝いて見えました。

三つ目に、部屋での行動です。私たちの部屋では、様々なカードゲームなどでたくさん遊びました。短い自由時間の中、たくさん遊ぶことができた理由は「行動の早さ」です。「やること早く終わらせたら自由時間が増えるよ!」と一人の子が言ったのが始まりです。しおりをしっかり見て予定を把握していたので、部屋の仲間全員で思う存分遊ぶことができました。誰か一人でも協力していなかったらこんなに楽しく遊べなかったと思います。

「一致団結」。私は今回の稲武野外学習を通してこの四字熟語の意味を深く考えさせられました。カレー作りの時、ご飯の水を少し入れすぎてしまったこともいい思い出です。

2組

僕がこの稲武で学んだことは二つあります。

一つ目は、自然の厳しさです。いつも当たり前のように使っているコンロやクーラー、電気などのものは自然の中にはないため、夜はとても暗いし、火は薪を燃やしておこす必要があります。それはとても不便なことです。僕はその不便さを受け入れることで、楽しさを感じたり、粘り強い精神力を養うことができると思いました。自然の中で暮らすと、都会では感じることはない便利さや、その道具に対する感謝の気持ちを持つことができるのではないかと思います。

二つ目は、仲間の大切さです。僕にはこの稲武だけでも、班の仲間、部屋の仲間、学級委員の仲間などのたくさんの仲間に支えられました。みんなで協力して作ったカレーはとてもおいしかったです。特にキャンプファイヤーは夏休み前から準備をし、学級委員全員で協力して成し遂げられたので、とても達成感を感じられたし、心に残る良い思い出となりました。今回の稲武は、仲間無しでは何もできなかったと思うし、楽しむこともできなかったと思います。これからも、仲間を大切に、また、仲間を助けられるような人にもなっていきたいです。

今回、この稲武で僕は都会では経験できないようなことを経験できたし、大切なことを学ぶこともできました。これからもこの稲武で学んだことを忘れずに生活していきたいです。

3組

僕が稲武野外学習で最も楽しかったのは、部屋で友達と過ごす時間でした。

全員でブラックジャックをしたりなど、普通に過ごしているだけでも楽しくて、今までの中学校生活で一番楽しかった時間かもしれません。苦勞したこともありましたが、昔から積極的に動くのが大の苦手だったので飯ごう炊さんなどの場面では、最初の方は何をすればいいのかわからなくて、パニック状態だったけれど、途中からは積極的に自分の役割をみつけて行うことができました。キャンプファイヤーも同じような感じでした。盛り上げるのも苦手なので、皆のテンションについていけるか心配だったけれど、知らない間に一緒に盛り上がられて楽しかったです。

民芸教室では竹とんぼを作りましたが、集中力や器用さが全くない僕でも時間を忘れるくらい集中して取り組めて、自分でも驚くほどでした。これを機に何か物作りを試みようかなという気も少し起こりました。

僕にとって稲武野外学習の2日間はこれ以上無い、とても充実した2日間でした。こんなにも楽しかったと思える経験は無かったし、初めてのことも多かったのでコロナじゃなければな、と悔やまれます。最初は正直冷めていたけれど、やっぱり仲間と過ごす時間は最高なんだと改めて実感しました。

もし今後機会があるならば、コロナが収まったときにもう一度こんな経験がしたいです。また、来年の修学旅行でも同じ経験を味わえるのかと思うととても楽しみです。

4組

いよいよこのときがやってきた。9月15日、稲武野外学習がありました。僕は楽しみでした。なぜなら姉が行っていて写真があり、楽しそうだなと感じたからです。重い荷物を背負っていき、その中で特に印象に残ったことが3つあります。

一つ目は飯ごう炊さんです。僕はカレーを担当し、班で協力して食材を調理したり、分からないところは他の班の人に聞いたりしました。作業を終えてかまどに戻ってくると、飯ごう担当の人も作業を終えていて、作ったカレーライスを食べてみました。すごく美味しくて、また自然の中で食べるカレーライス最高だなと思いました。そのせいか、約3杯も食べられました。とってもいい思い出になりました。

二つ目は部屋と朝食です。部屋では「なんじゃもんじゃ」で楽しみました。そして就寝時はうかれていたのか、結構早めに眠れて起きた時間はアラームを設定した時間でした。また、朝食では食事係として先に行って準備をしました。役割分担して協力したのが良かったです。

三つ目は民芸教室です。僕は竹とんぼの集会室でした。行く時は、ずっと上り坂で大変で車も通っていました。しかし帰りの下りは楽勝でした。集会室について、竹が置いてあり羽の部分の削るのは疲れる作業で、まめができてしまいました。ですが、そんな努力をしながら完成させ外で飛ばしてみると、すごく良く飛んでうれしく、日々使おうと思いました。

この稲武野外学習は、二年生の一大行事です。一泊二日だったのは少し残念ですが、その中ですごく楽しめて、僕にとって宝物となりました。これからもこの先も、学んだことを生かして生活していこうと思います。

5組

私は稲武野外学習でふだん話さない人や友達と仲を深める事ができ、仲間と協力することの大切さを学びました。そして思い出もたくさんできました。特に1日目の飯ごう炊さんと民芸教室が心に残りました。

1日目の飯ごう炊さんはまず火をおこして、野菜を切りました。野菜を切り終わった後にご飯を炊きました。少し蒸らしたあとご飯を見てみると、めちゃくちゃ良い感じに炊けていて感動しました。その後のカレーも良い感じでした。

2日目の民芸教室では、焼杉を作りました。動物の型にかたどられた木の板を優しいおじさんに焼いてもらいました。焼け目がとても綺麗で、牧野先生や安藤先生に焼かれなくて良かったです。焼いてもらった後はワックスを塗ったり目をつけました。完成した焼杉はかわいくて気に入っています。完成した焼杉で遊んだりしました。かわいがっています。

今稲武であった出来事を思い返してみると、友達と文句を言いながら登った坂道や、ブラック企業かよと思いがちだった食事係の仕事などといった記憶が鮮明にあります。なんだかんだ今思うと、どれも新鮮なことばかりで良い経験だったし、やりがいのある仕事が多かったし、なによりすごく楽しくて記憶の中の自分はいつも笑っているような気がします。これからは仕事をしっかりとしていきたいと思いました。あと、先生達の服がおもしろくて笑いました。

6組

私は稲武に行くまで稲武に行きたくないと思っていました。元々虫が嫌いだし、中津川でも配膳係をやっていた自分がカレーなんか作れるのかと不安が多かったです。当日も班長が休み、急に副班長になることに。しかも副班長の仕事はかまどの火の管理で、私はとても火が苦手だったから、バスの中で不安はさらに増えました。でも着いた先は静かできれいな森でした。空気は澄み渡っており、近くで川の音がする、想像と全然違いました。それにカレー作りの時も皆で協力して行ったので、火なんてちっとも怖くありませんでした。部屋でもみんなでトランプで遊び、懐中電灯を手を持って行く夜道は楽しかったです。キャンプファイヤーはメラメラと燃え、名塚中クイズはおもしろいモノばかりで、帰りのキャンドルでできた道は綺麗でした。竹とんぼも弟の分をじゃんけんで勝ち取り、帰りのバスでは楽しく喋りながら帰ってきました。稲武では特に仲間と協力して頑張ったカレーはとてもおいしかったです。仲間と助け合いながら行動し、それによってできたものは、とても素晴らしいものだと思いました。

7組

私は稲武を終えて、友達との仲が深まり、話したことの無い子と話すこともできて良かったなと思いました。あと、カレー作りの時など皆で協力する場面がたくさんあって協力する楽しさを感じました。私は自分から話しかけたりすることは苦手だったんですけど、稲武ではなぜかみんなと話すことができたし、知らない子にも少しだけしゃべれるようになっていました。そんな自分にびっくりしました。これからも稲武の時のように学校でもできたら良いなと思っています。頑張っていきたいです。

私が特に楽しかったと思ったのは、カレーを食べたときとキャンプファイヤーです。カレーは作るのも楽しかったけど、班の皆と喋りながら食べていたので楽しかったし、仲も深まって良かったです。あと自分達が一生懸命作ったカレーだったのですごく美味しかったです。失敗しなくて安心しました。もう一つのキャンプファイヤーはゲームも楽しかったし、学級委員の踊りも綺麗でした。キャンプファイヤー中は全員の一体感を感じました。○×クイズのときは先生も一緒にやっておもしろかったです。でもキャンプファイヤー中は結構寒かったです。やっぱり名古屋と稲武は温度差がだいぶあると分かりました。

私は稲武に行って友達と仲良くなれたし自然の良さも感じたのでとても良かったです。